

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

日向市教育委員会

本調査は、令和4年4月に、文部科学省が小学校6年生および中学校3年生を対象に、「教科に関する学力調査」と「学習習慣や生活習慣等に関する学習状況調査」として、実施しました。

この調査は、国や各県及び市町村教育委員会、各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、今後の教育指導の充実や学習状況の改善・充実を図ることを目的としています。

1 調査内容

教科に関する学力調査 出題内容 【対象教科】 国語 算数・数学	<ul style="list-style-type: none">○ 身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 等
児童生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none">○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 本市における学力・学習状況調査の結果概要

(1) 「教科に関する学力調査」の結果概要

① 小学校

- 理科については、概ね県及び国の平均正答率と同じような状況であったが、国語・算数については、やや課題がみられた。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	<ul style="list-style-type: none">○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。○ 文章に対する感想や意見や伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。	<ul style="list-style-type: none">● 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。● 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。
算数	<ul style="list-style-type: none">○ 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する。 (例：カップケーキ7個分の値段を、$1470 \div 3$で求めることができるわけを書く。)○ 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をする。 (例：1050×4)	<ul style="list-style-type: none">● 百分率で表された割合を分数で表す。 (例：果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す。)● 正三角形の意味や性質を基に、角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する。
理科	<ul style="list-style-type: none">○ メスシリンダーという器具を理解している。○ 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。	<ul style="list-style-type: none">● 水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見出し、問題に対するまとめを選ぶ。● 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ。

② 中学校

- 国語と理科については、概ね県及び国の平均正答率と同じような状況であったが、数学については、やや課題がみられた。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文脈に即して漢字を正しく書く。 ○ 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。 ● 表現の技法について理解している。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 (例：連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$) ○ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。 (例：容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。 ● 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ意味を説明する。 (例：差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する。) ● 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気圧、気温、温度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選ぶ。 ○ 玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選ぶ。 ● 水素を燃料として使う仕組みの例から、水の質量の変化について、適切なものを選ぶ。

(2)「学習習慣や生活習慣等に関する学習状況調査」の結果概要

① 小学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることが多い。 ○ 人が困っているときは、進んで助けることが多い。 ○ 国語の勉強が好きである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器の使用頻度 ● 学力調査の解答時間が足りないこと（算数・理科） ● 学校の授業時間以外（休日を含む）の1日当たりの勉強時間

② 中学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	今後の課題となる内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業の内容がよく分かる。 ○ 理科の授業の内容がよく分かる。 ○ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学力調査の解答時間が足りないこと（国語・理科） ● 1・2年生のときの授業で、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、自分の考えを発表できていなかったこと ● 1・2年生のときの授業で、自分の思いや考えをもとに、作品や作文などを創り出す活動を行っていなかったこと

3 今後に向けて

- 各教科等の授業において、「根拠を明確にして、自分の考えを書く」活動の時間を十分に確保するとともに、全国学力調査等の問題を活用し、題意を的確に捉えたり、時間内に問題を解いたりするなどの取組を適宜行います。
- 分析した結果を踏まえながら、「改善・実践・継続・徹底・定着・見届け」のサイクルを大切にしながら授業改善に取り組みます。
- 日常的なICT機器の効果的な活用により、子どもたち一人一人が自分のペースに合わせた学習を行うとともに、自他の考えを共有しながら協働的に学習できる活動を設定していきます。
- 子どもたちに目的意識をもたせ、授業の学習内容とつながりのある家庭学習の充実に努めます。